

平成27年度 事業実施報告書

一般社団法人 北陸地域づくり協会

事業名 (個別メニュー)	土木学会新潟会「土屋雷蔵賞」	事業経緯	継続	実施体制	協力	担当所属	企画部
事業名 (大項目)	地域の利用・整備・保全に関する広報事業	分類名 (中項目)	表彰活動支援事業			事業区分	表彰、コンクール

1. 事業目的

公益社団法人土木学会関東支部新潟会では、産・官・学の情報交換を図り、多様化する土木技術の実情を把握するとともに、より一層の技術の向上を目指す目的で、毎年、研究調査発表会を開催している。

本賞は、新潟地区の土木工学に係る学術・技術の進展に尽力、土木事業の発展に寄与された故 土屋雷蔵工学博士を称え制定した制度で、地域を支える土木技術者を育成することを目的に、研究発表会の優秀講演者を表彰する。

2. 事業実施体制

主催：(公社)土木学会 関東支部新潟会
協力：(一社)北陸地域づくり協会

3. 事業実施概要

◆平成27年度研究調査発表会概要

日時：平成27年11月13日(金) 9:30～18:00
会場：朱鷺メッセ(新潟市内)
プログラム：
・セッション(課題発表) 7部門156課題
・コンクリート討論会

◆土屋雷蔵賞概要

対象者：論文内容に加え、講演が簡潔明瞭で優れた者
選定方法：各セッションの司会者がそのセッションでの講演者を評価
その評価に基づいて若干名の受賞対象者を決定
別途「規定」「内規」に基づき選定
* 新潟会ホームページ及び研究調査発表会論文集にて
賞の概要と受賞者を公表する。

4. 事業実施による効果(評価・貢献度等)

本賞は、平成11年度第17回研究調査発表会より始められ、平成26年度までに計75名が受賞している。

故 土屋雷蔵 博士は、旧建設省技官として北陸の地に勤務した。全国有数の交通量を誇る全線立体構造の新潟バイパスを構想段階から牽引し、地域特有の雪に強い道路づくりを推進するなど、先見性と実行力に優れた土木技術者である。

その名を冠した表彰制度は、産官学の若手研究者・技術者の調査研究を推進・奨励し、地域を支える土木技術者を育成することに大きな意義を持っている。

新潟会HPでの概要掲載

賞の紹介

土木学会関東支部新潟会「研究調査発表会優秀講演者表彰土屋雷蔵賞」について

土木学会関東支部新潟会は、新潟県における土木工学に係る学術、技術の進展、土木事業の発展及び社会福祉の増進を図ることを目的として研究調査発表会を開催している。発表内容は、研究開発成果、建設、防災防犯、土木建築等分野などの発展を促す。各セッションの司会者がそのセッションでの講演者を評価し、その評価に基づいて若干名の受賞対象者を決定し、別途「規定」「内規」に基づき選定する。受賞対象者は、研究調査発表会論文集に掲載される。平成27年度受賞者は以下のとおりである。

対象者
研究調査発表会で実際に講演したセッションの講演者の中から、講演内容に加え、講演が簡潔明瞭で優れた者を選定する。

今年度の選定方法
発表会において各セッションの司会者がそのセッションでの優秀講演者を評価し、その評価に基づいて若干名の受賞対象者を決定する。

表彰
* 研究調査発表会賞状及び賞状を授与いたします。
* 土木学会関東支部新潟会ホームページにて発表を公表いたします。

HP・論文集での受賞者公表

第32回土木学会関東支部新潟会研究調査発表会
(平成26年11月5日)
第16回 土屋雷蔵賞受賞者

第1部門 (1427)
橋脚の構造・基礎設計に活用可能なCFRPフラットスラブ

第2部門 (1017)
複層型高層ビルを構成する一軸回転構造における地震応答

第3部門 (1104)
スクラップ・プラスチック工法による浸透性排水効果の検証

第4部門 (1014)
緑化付帯地盤改良に定着性を確保した鉄・土質複合部材

第5部門 (1014)
緑化付帯地盤改良に定着性を確保した鉄・土質複合部材

第6部門 (1017)
緑化付帯地盤改良に定着性を確保した鉄・土質複合部材

第33回 土木学会関東支部新潟会研究調査発表会
論文集

平成27年11月13日
会：朱鷺メッセ
土木学会関東支部新潟会